

平成 28 年度事業報告書

公益財団法人徳川黎明会

I. 管理部門

[1] 業務執行体制の充実

新業務執行体制となって以降、初年度となる平成 28 年度は、徳川美術館、徳川林政史研究所との連携・協調・協力をより深め、各種情報・諸課題・諸問題を共有するとともに、意思決定の合理化・迅速化をはかり、対外的事項はもとより、諸規程・各種制度の見直し、日常的業務の処理のあり方、職員からの個別相談への綿密な対応・指導など、法人内部の基礎的事項の見直し・改善に着手し、より円滑な法人事業活動に資すべく注力し、全般を統括した。

[2] 諸規程の見直しと取り組み

1. 諸規程改定・新設

平成 28 年 4 月 1 日 従業員就業規則改定（高齢法対応、再雇用環境整備）

平成 28 年 6 月 24 日 定款改定（一部文言の訂正）

平成 28 年 11 月 1 日 慶弔見舞金規程制定（新設）

2. 諸規程の見直しに伴う取り組み

規程と運用の乖離・関係法令改正対応状況・規程間の整合等の確認、統一的電子原稿整備など、第一段階としての作業に取り組むとともに、可能な範囲から諸問題に順次着手し、解決・解消をはかった。

[3] 募金活動の企画推進

前年度同様、徳川美術館、徳川林政史研究所と連携し、活動支援基金を広く募ったが、平成 28 年度は、その一環として、喫緊の課題であった徳川美術館本館の耐震工事および北蔵前壁面の補修工事に着手すべく、本件にかかる寄附募集活動を励行した。その結果、当初目標額には未達であったものの、多数の法人および個人による当該趣旨への賛同ならびに尊い寄附を得て、これらの着工から竣工までが年度内に叶い、実現するに至った。

[4] 平成 28 年度監査

平成 28 年度会計・業務監査について、下記のとおり執り行われた。

日時：平成 29 年 5 月 19 日／13 時 00 分より 14 時 55 分まで

場所：当財団／本部会議室

対象：会計、業務、理事の職務執行

[5] 理事会・評議員会開催

1. 理事会

・ 第 1 回（定時）

日時：平成 28 年 6 月 9 日／14 時 00 分より 15 時 50 分まで

場所：当財団／本部会議室

議案：第 1 号議案／平成 27 年度事業報告について

第 2 号議案／平成 27 年度決算について

第 3 号議案／定款変更について

第 4 号議案／理事改選について

第 5 号議案／平成 28 年度第 1 回定時評議員会開催について

結果：全案について、出席理事一同異議なく議決された。第 3 号議案については、定款全体の流れにおける「代表理事」の文言の初出条項とその定義条項の位置関係について、定義条項が先に位置してしかるべきではないかとの意見があり、本件について、特段問題とならないことを今一度確認することを条件として、出席理事一同異議なく了承し、原案どおり議決された。なお、

本件について、即日、外部有識者に照会し、下記事由をもって特段問題とならないことを確認した。

平成 28 年 6 月 9 日付確認事項

当財団の定款は、法令上の条文番号に沿って構成されていること

公益法人改革に際し、内閣府より定款のモデル案が公表されており、新制度へ移行する法人の多くが標準モデルを採用しているものと推察されること

当財団の定款は、標準モデルである定款案を基準として作成されていること

当財団の定款は、内閣府より承認されていること

定款の構成等は、本来、法令に準拠している限り、自由に作成可能であるが、上記のとおり、特に不都合がないものと判断されること

・ 第 2 回（書面）

日時： 平成 28 年 6 月 30 日（審議事項および決議があったものとみなされた日）

議案： 第 1 号議案／代表理事、業務執行理事（常務理事）の選定について

結果： 平成 28 年 6 月 27 日、徳川理事は、定款第 35 条の定めにより、平成 28 年 6 月 24 日付第 1 回定時評議員会において再任が決議された理事のうちより、代表理事、業務執行理事を選定すべく、下記の者を候補者として理事全員に対し書面をもって提案したところ、理事一同より、異議なくこれを承認する旨の意思表示が書面にてあり、定款第 39 条（決議の省略）にもとづき、本案は理事会の決議があったものとみなされた（書面によるみなし決議）。

職位	候補者
代表理事	徳川 義崇
業務執行理事（常務理事）	竹内 誠

・ 第 3 回（定時）

日時： 平成 29 年 3 月 24 日／13 時 00 分より 15 時 22 分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第 1 号議案／平成 29 年度事業計画について

第 2 号議案／平成 29 年度収支予算について

第 3 号議案／平成 29 年度資金調達及び設備投資について

第 4 号議案／相談役の選任について

第 5 号議案／重要な使用人の選任について

結果： 全案について、出席理事一同異議なく議決された。第 4 号議案および第 5 号議案の議決により、下記のとおり選任された。

相談役	竹内 順一、竹田 憲央
総務部長	長谷川 直人

2. 評議員会

・ 第 1 回（定時）

日時： 平成 28 年 6 月 24 日／15 時 00 分より 16 時 50 分まで

場所： 当財団／本部会議室

議案： 第 1 号議案／平成 27 年度決算について

第 2 号議案／定款変更について

第 3 号議案／理事改選について

結果： 全案について、出席評議員一同異議なく議決された。なお、第 3 号議案については、候補者個別に可否が諮られ、下記候補者全員の再任について了承し、原案どおり議決された。

徳川 義崇、竹内 誠、池田 弘一、小林 忠、徳川 斉正、前田 利祐、計 6 名

内閣府関係

下記について、電子申請システム（公益 Information システム）経由にて提出・報告した。

平成 28 年 6 月 平成 27 年度事業報告及び決算報告

平成 28 年 10 月 税額控除に係る証明書（租税特別措置法施行令第 26 条関係）取得申請

平成 29 年 3 月 平成 29 年度事業計画及び収支予算

[7] 役職員等の状況（平成 29 年 3 月 31 日現在）

1. 役員等

評議員 6 名、役員 8 名、相談役 2 名、合計 16 名

(1) 評議員

職位	氏名	現職
評議員会長	田中 秀隆	(公財)三徳庵理事長
評議員	太田 宏次	(公財)東洋医学研究財団理事長
評議員	小林 喬	富国生命保険(相)相談役
評議員	濱本 英輔	(株)ハーフ・センチュリー・モア顧問
評議員	原 俊夫	(公財)アルカンシエール美術財団理事長
評議員	室瀬 和美	(株)目白漆芸文化財研究所代表取締役

(2) 理事

職位	氏名	現職
代表理事（会長）	徳川 義崇	徳川美術館館長・八雲産業(株)代表取締役
常務理事	竹内 誠	徳川林政史研究所所長・東京学芸大学名誉教授
理事	池田 弘一	アサヒグループホールディングス(株)相談役
理事	小林 忠	岡田美術館館長・学習院大学名誉教授
理事	徳川 斉正	(公財)徳川ミュージアム理事長
理事	前田 利祐	(公財)前田育徳会理事

(3) 監事

職位	氏名	現職
監事	降籬 京二	降籬公認会計士事務所所長
監事	松平 頼武	(学)本郷学園理事長

(4) 相談役

職位	氏名	現職
相談役	竹内 順一	東京芸術大学名誉教授
相談役	竹田 憲央	八雲産業(株)常務取締役兼総務部長

2. 職員等

(1) 職員等

区分	常勤	非常勤	計
職員	23	0	23
雇員	4	0	4
嘱託	1	2	3
臨時	0	4	4
派遣	2	0	2
合計	30	6	36

(2) 協力者等

区分	常勤	非常勤	計

参与	0	5	5
特任研究員	0	16	16
非常勤研究員	0	17	17
非常勤研究生	0	12	12
非常勤学芸員	0	3	3
合計	0	53	53

II. 公益事業

[公益事業 1] 美術館の運営事業（徳川美術館）

平成 28 年度、徳川美術館においては、当初計画どおり、築後 80 年を経た本館の耐震工事および北蔵前壁面の補強工事を実施した。これに伴い、本館第 7～9 展示室を工事期間中休室とし、「特別展」「企画展」は、主として名古屋市蓬左文庫の協力を得て、同文庫第 1・2 展示室において実施した。また、通常年度と異なる美術館運営のもと、新館第 1～5 展示室においても、「特別展示」をシリーズで実施することにより、展示の充実をはかるとともに、各般の来館者向けサービスの向上に努めた。この結果、平成 28 年度の来館者数は、23 万余名となり、前年度実績の 25 万余名をやや下回りはしたものの、当初想定 18 万名を大きく上回る結果となった。また、耐震工事実施に伴い、寄附金を募ったのに対し、平成 27 年 12 月より平成 29 年 3 月までの間に、合計 42,970,019 円の寄附が得られ、当該工事費用（付帯費用を含め総額 135,738,912 円）に充当した（自己資金分は 92,768,893 円）。なお、平成 28 年 10 月 13 日、国賓として来日中のベルギー国王ご夫妻がご来館され、展示を鑑賞された。

[1] 調査・研究

1. 研究活動

課題（開始年）	担当	
・ 館藏品悉皆調査（昭和 63 年）	学芸部共同	
・ 尾張徳川家関係寺社藏品調査（昭和 58 年）	学芸部共同	
・ 古代・中世の料紙装飾の系譜（昭和 60 年）	部長	四辻 秀紀
・ 歌絵・物語絵の研究（平成 3 年）	部長	四辻 秀紀
・ 徳川将軍家と尾張徳川家の研究（平成 19 年）	部長代理	原 史彦
・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 20 年）	部長代理	原 史彦
・ 大名家における絵師の絵画活動についての研究（平成 6 年）	マネージャー	吉川 美穂
・ 尾張を中心とする画家の活動について 一田中訥言を中心に一（平成 11 年）	マネージャー	吉川 美穂
・ 尾張徳川家旧蔵の古典籍および文書について（平成 8 年）	学芸員	並木 昌史
・ 有職装束の研究（平成 8 年）	学芸員	並木 昌史
・ 松坂屋染織参考館所蔵の衣服調査研究（平成 21 年）	学芸員	並木 昌史
・ 近世狩野派の研究（平成 24 年）	学芸員	薄田 大輔
・ 戦国合戦図の総合的研究（平成 28 年）	学芸員	薄田 大輔
・ 江戸初期絵画の研究（平成 24 年）	学芸員	加藤 祥平
・ 尾張徳川家茶頭の研究（平成 28 年）	学芸員	加藤 祥平
・ 愛知県における仏教絵画の研究（平成 25 年）	学芸員	安藤 香織
・ 東洋陶磁の研究（平成 25 年）	学芸員	吉富 真知子
・ 唐物受容史の研究（平成 28 年）	学芸員	吉富 真知子

2. 科学研究費助成事業

文部科学省科学研究費補助金

研究種目：基盤研究(B)

研究課題：高雄曼荼羅に見る古代アジア密教美術の様相

交付機関：東京国立博物館（独）日本学術振興会

交付金額：400,000 円

研究者名：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織（研究分担者）

[2] 文化財保存

1. 修理

(1) 基本美術品（計 1 点）

国宝 源氏物語絵巻 絵十五面、詞二十八面のうち、蓬生、竹河（二）、宿木（三）

本件は、国宝重要文化財等保存整備費補助金（国庫補助事業）による修理（平成 28 年度より、4 か年の継続事業）

(2) 普通美術品（計 1 点）

雲龍中釜 三代 道也 作 一口

2. 購入

(1) 普通美術品（計 2 点）

葵紋抱牡丹紋散蒔絵五段重箱 一組

狩野伊川院栄信筆「金城見通之図」 一巻

3. 受贈

(1) 普通美術品（計 18 点）

金紗漢詩屏風 二曲一隻

桜に鳥図屏風 小寺雲洞筆 二曲二隻

染付磁器入花蝶蒔絵菓子箆筒 一基

鷹狩図屏風 六曲一双

三つ輪違紋付網代陣笠 一枚

丸に葛紋付網代陣笠 一枚

鉄線唐草蒔絵提重 一具

菊水蒔絵提重 一具

八角網代食籠 一合

立体鏡 附 立体鏡用写真 二基

櫛・筭類 一式

雛飾り 一式

御所人形 一躰

徳川斉荘筆 和歌短冊「水辺菊」 一幅

徳川斉荘筆 和歌短冊「池菖蒲」 一枚

菊折枝蒔絵碁盤 一面

菊折枝蒔絵将棋盤 一面

菊折枝蒔絵双六盤 一面

4. 収蔵品撮影（館内）

平成 28 年 8 月 3～4 日 「尾張徳川家の雛まつり」関連
31 件 69 カット（うち、11 件 27 カットは他館より依頼分）

平成 28 年 11 月 10～11 日 「尾張徳川家の雛まつり」「日本最大の婚礼調度」関連
31 件 47 カット（うち、1 件 1 カットは他館より依頼分）

平成 29 年 1 月 15～20 日 刀剣デジタル撮影
31 件 121 カット

平成 29 年 2 月 15～16 日 「金と銀の国 ジパング」関連
42 件 45 カット

平成 29 年 3 月 28～30 日 刀剣デジタル撮影
20 件 63 カット

[3] 教育・普及

1. 定期研究発表会（第 69 回、第 70 回）

平成 28 年 7 月 9 日	新出の「名古屋東照宮祭礼図屏風」について		吉川 美穂
平成 29 年 3 月 26 日	善光寺式阿弥陀三尊絵像に関する試論 —徳川美術館本を起点に—		安藤 香織
2. 記念講演会			
平成 28 年 4 月 16 日	平木コレクションの浮世絵 (公財)平木浮世絵財団常務理事		佐藤 光信 氏
平成 28 年 4 月 23 日	歌麿 VS 写楽	名古屋市博物館副館長	神谷 浩 氏
平成 28 年 5 月 14 日	北斎か、広重か	名古屋市博物館副館長	神谷 浩 氏
平成 28 年 7 月 16 日	信長・秀吉・家康の城	奈良大学教授	千田 義博 氏
平成 28 年 11 月 5 日	伊藤若冲の独創的な絵画世界 岡田美術館館長		小林 忠 氏
平成 29 年 1 月 21 日	かな古筆を学ぶ 中部日本書道会顧問		倉重 拝石 氏
3. 土曜講座「大名の生活と文化」			
平成 28 年 4 月 7 日	幕末浮世絵の魅力 —歌川国貞・歌川国芳・溪斎英泉—		薄田 大輔
平成 28 年 6 月 4 日	蓬左文庫と近代	名古屋市蓬左文庫学芸員	木村 慎平 氏
平成 28 年 6 月 25 日	絵画とデザイン		加藤 祥平
平成 28 年 7 月 30 日	尾張徳川家伝来文書にみる戦国合戦		原 史彦
平成 28 年 9 月 17 日	ザ・ベスト@トクガワ		並木 昌史
平成 28 年 11 月 12 日	詞書から読み解くやまと絵		吉川 美穂
平成 28 年 11 月 26 日	国宝 源氏物語絵巻「閑屋」の山水表現をめぐって —やまと絵の成立と展開—		安藤 香織
平成 29 年 1 月 14 日	線状の美—11 世紀のかな—		四辻 秀紀
平成 29 年 2 月 18 日	福君婚礼調度の全貌を探る		吉川 美穂
平成 29 年 3 月 4 日	信長時代の利休	大日本茶道学会会長	田中 仙堂 氏
4. 秋期講座「徳川美術館の名品探訪」			
平成 28 年 10 月 1 日	総論 蔵帳を通してみた尾張徳川家の什宝		四辻 秀紀
平成 28 年 10 月 1 日	徳川家康と桃山ファッション 京都国立博物館教育室長		山川 暁 氏
平成 28 年 10 月 2 日	扇と物語 平家物語図扇面を中心に	金城学院大学文化部教授	龍澤 彩 氏
平成 28 年 10 月 2 日	尾張徳川家伝来の名刀		並木 昌史
平成 28 年 10 月 5 日	見学会 (建中寺・定光寺・密蔵院)		
5. 能楽講座「尾張徳川家の能」テーマ:「猩々」			
平成 29 年 2 月 5 日	東照宮祭礼と山車 「猩々」をめぐって CBC テレビ		北島 徹也 氏
平成 29 年 2 月 26 日	「猩々」の秘伝 重習「乱」 笛方藤田流家元		藤田 六郎兵衛 氏
平成 29 年 3 月 12 日	能「猩々」から誕生した日本舞踊 NPO むすめかぶき代表理事		市川 櫻香 氏
6. 徳川林政史研究所古文書入門講座「江戸時代の古文書を読む」			
平成 28 年 6 月 4 日	享保改革と吉宗・宗春	所長	竹内 誠
平成 28 年 6 月 18 日	享保改革期の法令伝達	副所長	深井 雅海
平成 28 年 6 月 25 日	異形の殿様 徳川宗春の登場 中京大学文学部歴史文化学科准教授		

- | | | | |
|--------------------------------------|--|------------|---------|
| | | | 白根 孝胤 氏 |
| 平成 28 年 7 月 2 日 | 尾張藩の享保林政改革 | 非常勤研究員 | 萱場 真仁 |
| 平成 28 年 7 月 9 日 | 徳川宗春の人となりと政治 | 研究員 | 藤田 英昭 |
| 平成 28 年 7 月 16 日 | 徳川宗春の隠居・謹慎 | 研究員 | 藤田 英昭 |
| 7. ギャラリー・トーク | | | |
| 平成 28 年 6 月 18 日 | ジャパン・デザインー日本の美をもとめてー | | 加藤 祥平 |
| 平成 28 年 6 月 30 日 | ジャパン・デザインー日本の美をもとめてー | | 加藤 祥平 |
| 平成 28 年 7 月 18 日 | 信長・秀吉・家康ーそれぞれの天下取りー | | 原 史彦 |
| 平成 28 年 9 月 2 日 | 信長・秀吉・家康ーそれぞれの天下取りー | | 原 史彦 |
| 平成 28 年 11 月 16 日 | やまと絵うるわし | | 吉川 美穂 |
| 平成 28 年 12 月 4 日 | やまと絵うるわし | | 吉川 美穂 |
| 平成 29 年 1 月 9 日 | 美しきかな | | 四辻 秀紀 |
| 平成 29 年 1 月 20 日 | 美しきかな | | 四辻 秀紀 |
| 8. 古美術相談会 | | | |
| | 年度 4 回開催、相談件数計 5 件 | | |
| | その他、写真郵送等による計 9 件の古美術相談を実施 | | |
| 9. 本館リオープン記念企画 | | | |
| 平成 29 年 1 月 26 日 | 名曲講座「天満敦子ヴァイオリン・コンサート」 | | |
| 平成 29 年 1 月 28 日 | よみがえる能の響きー笛 蟬折と苅田の鼓の音色ー | | |
| | 笛方藤田流十一世宗家 | 藤田 六郎兵衛 氏 | |
| | 小鼓方大倉流十六世宗家 | 大倉 源次郎 氏 | |
| 10. 本館リオープン式典 | | | |
| 平成 29 年 1 月 28 日 | 式典 | | |
| | よみがえる能の響きー笛 蟬折と苅田の鼓の音色ー | | |
| | 観世流シテ方 | 片山 九郎右衛門 氏 | |
| | 笛方藤田流十一世宗家 | 藤田 六郎兵衛 氏 | |
| | 小鼓方大倉流十六世宗家 | 大倉 源次郎 氏 | |
| 11. 企画展関連企画 | | | |
| 平成 28 年 4 月 29 日～5 月 5 日 | ゴールデンウィーク特別企画「戦国武将なりきりウィーク」 | | |
| 平成 28 年 6 月 22 日・23 日・26 日 | ジャパン・デザイン展企画「和の香りを楽しむ 組香ー系図香ー」 | | |
| 平成 28 年 7 月 31 日 | 信長・秀吉・家康展企画「古流無双直伝英信流居合兵法」 | | |
| 平成 28 年 11 月 29 日・30 日・12 月 2 日・30 日 | やまと絵うるわし展企画「和の香りを楽しむ 組香ー初冬香ー」 | | |
| | 「尾張徳川家の雛まつり」記念企画 | | |
| 平成 29 年 2 月 11 日 | オリジナル香袋・文香をつくる | | |
| 平成 29 年 2 月 25 日 | 目で見る雛まつり 十二単着装公開 (2 回) | | |
| 平成 29 年 3 月 2 日・3 日・5 日 | 姫君満喫プラン | | |
| 12. 会員のための見学会 | | | |
| 平成 28 年 8 月 7 日 | 第 54 回 福井県立美術館「岩佐又兵衛展」と湖北の十一面観音 | | |
| 平成 28 年 9 月 9 日 | 第 55 回 岐阜市歴史博物館「豊臣から徳川へ」と
信長ゆかりの地をめぐる | | |
| 13. 学芸員実習 | | | |

平成 28 年 8 月 30 日～9 月 7 日

博物館経営に関する講義および体験（於館内各施設） 学生 6 名参加

14. 大学法人等への出講および受嘱

(1) 出講

南山大学	前期	部長	四辻 秀紀
金城学院大学	後期	部長	四辻 秀紀
中京大学	秋期集中	部長	四辻 秀紀
金城学院大学	前期	部長代理	原 史彦
名古屋芸術大学	後期	部長代理	原 史彦
同朋大学	前期	マネージャー	吉川 美穂
名古屋芸術大学	後期集中	マネージャー	吉川 美穂
椙山女学園大学	集中	マネージャー	吉川 美穂
名古屋芸術大学	通年	学芸員	並木 昌史
愛知県立大学	前期	学芸員	薄田 大輔
愛知淑徳大学	後期	学芸員	薄田 大輔
中部大学サテライトカレッジ			

4 月 28 日	学芸員	並木 昌史
5 月 12 日	学芸員	薄田 大輔
5 月 19 日	学芸員	薄田 大輔
5 月 26 日	学芸員	並木 昌史
6 月 2 日	学芸員	加藤 祥平
6 月 9 日	学芸員	加藤 祥平
10 月 6 日	学芸員	並木 昌史
10 月 13 日	学芸員	加藤 祥平
10 月 20 日	学芸員	薄田 大輔
10 月 27 日	マネージャー	吉川 美穂
11 月 10 日	学芸員	安藤 香織
11 月 17 日	部長	四辻 秀紀

(2) 受嘱

宮内庁春日権現験記絵修理監査	部長	四辻 秀紀
(公財)芭蕉翁顕彰会参与	部長	四辻 秀紀
京都国立博物館買取協議会委員	部長	四辻 秀紀
愛知県史編さん委員会特別調査委員（別編文化財）	部長	四辻 秀紀
愛知県史編さん委員会特別調査委員（近世史）	部長代理	原 史彦
東京大学史料編纂所特定共同研究員	部長代理	原 史彦
愛知県史編さん委員会特別調査委員（絵画）	マネージャー	吉川 美穂
文化庁平成 28 年度「博物館の管理運営に関する研修」		
企画運営会議委員	マネージャー	加藤 啓子
愛知県史編さん委員会調査協力員（典籍班）	学芸員	並木 昌史
東京大学史料編纂所特定共同研究員	学芸員	薄田 大輔

※ その他、外部機関からの依頼にもとづき、随時職員を派遣した。

15. Google Art Project での当館作品紹介

徳川美術館所蔵作品を Google Art Project へ掲載するため、掲載作品の選定作業を実施した（引き続き次年度も継続予定）。

16. 土曜子ども教室の開催・小中学生向け教育普及活動・館外出講講座

(1) 土曜子ども教室

平成 28 年 4 月 2 日～平成 29 年 3 月 25 日 (44 日間)

子ども 800 名、大人 417 名、参加者数計 1,217 名

毎週土曜日、1 日 3 回、各約 60 分、小学校・中学校の児童及び生徒を対象に実施、美術の紹介、「今月のポイント」(月替わりで収蔵品を紹介)、「体験タイム」(月替わりで大名文化を体験)、名品コレクション展示室で展示解説を実施。

(2) 大名の歴史と文化伝承プログラム「夏休み子ども歴史教室」

名古屋市立小学校及び中学校、他にポスター配布 (500 枚)

平成 28 年 8 月 2 日～8 月 31 日 ギャラリー・クイズ

参加者数計 2,047 名

平成 28 年 8 月 2 日～8 月 31 日 小学生および中学生の歴史教室「信長・秀吉・家康」

参加者数計 1,246 名

平成 28 年 8 月 2 日～8 月 31 日 歴史文化体験「遊んで作ろう、貝あわせ」

参加者数計 580 名

平成 28 年 8 月 16 日・17 日 自由研究

参加者数計 44 名

(3) 体験学習

貝あわせ、刀解体組立、火縄銃に触れる、甲冑着装、子ども出世すごろく等を体験後、館内を見学。

小学校 2 校、参加者数計 134 名

中学校 9 校、参加者数計 505 名

特別支援学級 2 校、参加者数計 10 名

大学法人 7 校 (留学生含む)、参加者数計 163 名

団体 (JAF) 参加者数計 112 名

(4) 校外学習

美術館紹介と作品解説

小学校 2 校、参加者数計 52 名

中学校 7 校、参加者数計 49 名

高等学校 1 校、参加者数計 97 名

大学法人 1 校、参加者数計 24 名

17. 中学・高校・大学職場体験 (インターンシップ)、職場訪問の受入れ

(1) 職場体験

中学校 2 校、高校 2 校、参加者数計 10 名、教諭 4 名を受け入れた。

(2) 職場訪問

3 校、参加者数計 27 名を受け入れた。

18. 小中学校の先生方のための伝統文化体験プログラムセミナー

平成 28 年 7 月 28 日、参加者数計 16 名

19. 名品コレクション展示室名刀・名碗スタンプラリー

平成 28 年 4 月 19 日～平成 29 年 4 月 2 日

20. 協賛事業

(1) 愛知県博物館協会総会および実行委員会に参加

(2) 第 95 回名古屋市文化史教室 (事業提携)

夏休み子ども教室を名古屋市と共催

(3) チャン・ビン二胡演奏会

平成 28 年 4 月 10 日

(4) 文化のみち雛めぐりスタンプラリー

(名古屋文化遺産活用実行委員会「文化遺産を活かした地域活性化事業」)

平成 29 年 2 月 8 日～3 月 5 日

文化のみち 6 施設と連携、各施設で雛祭り関連を企画、ちらし 10,000 枚配布、参加者数計 4,000 名

(5) 愛知県内の博物館・資料館などを巡る「ひなまつりスタンプラリー」

平成 29 年 2 月 4 日～3 月 12 日

(6) 団体受入れ

聞香、22 件、参加者数計 403 名

貝あわせ、15 件、参加者数計 276 名

(7) 特別観覧

平成 28 年 4 月 深港 恭子 氏 (薩摩伝承館)

平成 28 年 5 月 土屋 貴裕 氏 (東京国立博物館) ほか 3 名

平成 28 年 6 月 池田 寿 氏 (文化庁文化財部美術学芸課)

平成 28 年 7 月 李 妊恩 氏 (ピッツバーグ大学院生)

平成 28 年 7 月 松島 仁 氏 (静岡県文化・観光部) ほか 1 名

平成 28 年 7 月 白原 由起子 氏 (根津美術館) ほか 1 名

平成 28 年 7 月 浅野 ひとみ 氏 (長崎純心大学人文学部) ほか 1 名

平成 28 年 7 月 川畑 憲子 氏 (九州国立博物館) ほか 1 名

平成 28 年 8 月 津田 卓子 氏 (名古屋市博物館)

平成 28 年 10 月 宮崎 もも 氏 (大和文華館) ほか 1 名

平成 28 年 11 月 横尾 拓真 氏 (名古屋市博物館)

平成 28 年 11 月 三笠 景子 氏 (東京国立博物館) ほか 4 名

平成 29 年 1 月 野田 麻美 氏 (静岡県立美術館)

平成 29 年 1 月 橋本 雄 氏 (北海道大学文学研究科) ほか 4 名

平成 29 年 3 月 村上 一馬 氏 (東北歴史博物館) ほか 1 名

平成 29 年 3 月 小林 公治氏 (東京文化財研究所文化財情報資料部) ほか 2 名

平成 29 年 3 月 Matthew Springford 氏 (BBC Television Arts) ほか 4 名

(8) 館長講演活動

平成 28 年 6 月 23 日 秋友会総会

演題「文化を守る」

平成 28 年 8 月 11 日 岐阜市歴史博物館「豊臣から徳川へー徳川美術館の名品で綴る」展
記念講演会

演題「文化を守る」

平成 28 年 9 月 5 日 東京海上日動火災保険(株)名古屋営業第二部「代理店感謝会」

演題「尾張徳川・水戸徳川 ご当主講演会 徳川家の歴史から学ぶ」

平成 28 年 9 月 12 日 丸八会講話会

演題「文化を守る」

21. ボランティア業務の運営

(1) 登録者数

333 名 (前年度実績 336 名)

(2) 展示解説

- ・ 平日の解説

土曜日・日曜日・祝日の展示解説

土曜子ども教室・夏休み子ども教室・分散学習又は団体学習

- ・ 申込み団体への解説

概要解説、110件、参加者数計1,797名

体験講座（聞香・貝あわせ）－日本の伝統文化にふれる－、37件、679名

(3) 行事

平成29年3月18日 懇親会、参加者数計150名

平成29年3月23日 ボランティア定年御礼会、対象者数計10名、参加者数計6名

(4) 研修

平成28年6月29日 救命救急講習

平成29年3月25日 新規採用ボランティア研修

平成29年3月28日 新規採用ボランティア研修

(5) その他の活動

学芸部・管理部業務支援、1名

特別専任ボランティア、18名

講座等題字作成、1名

館内生け花、1名

(6) 他館との交流

平成28年10月27日 河口湖美術館

(7) 採用

・ 第10期ボランティア、採用合計54名

平成28年11月10日 第1回研修

平成28年12月8日 第2回研修

平成29年2月3日 第3回研修

平成29年3月13日 第4回研修

平成29年2月15日 採用試験

平成29年2月16日 採用試験

平成29年2月19日 採用試験

・ 第4期解説員、採用合計13名

平成28年10月13日 第1回研修

平成28年11月17日 第2回研修

平成28年12月8日 第3回研修

平成29年1月24日 実地試験

平成29年1月25日 実地試験

平成29年1月26日 実地試験

[4] 展覧会

1. 名品コレクション展示（第1～6展示室）

名品コレクション展示室「名品コレクション展」として、約1か月毎に展示替。28年度は、本館が耐震工事で休室したため、名品コレクション展示室では、各部屋で特集展示を実施した。

・ 平成28年4月19日～7月10日

第1展示室：徳川美術館の名刀・大名の誉れ 甲冑

特別公開 脇指 鯨尾藤四郎・脇指 物吉貞宗・短刀 後藤藤四郎・刀 本作長義

第2展示室： 徳川美術館の名碗・名物茶器

第3展示室： 特別公開 純金台子皆具（4月19日～6月14日）

第4展示室： 国宝 初音調度の美

第5展示室： 蓬左文庫春季特別展関連展示「ぶらり浮世絵散歩－国貞・国芳・英泉－」
（4月16日～5月29日）

- 平成 28 年 7 月 12 日～9 月 11 日
 - 第 1 展示室： 戦国名刀物語
 - 第 2 展示室： 徳川美術館の名碗・戦国武将の茶道具
 - 第 3 展示室： 大名家の七夕・夏の茶事
 - 第 4 展示室： 国宝 初音調度の美・徳川家康の能
 - 第 5 展示室： 蓬左文庫企画展関連展示「葵紋のデザイン」
- 平成 28 年 9 月 15 日～11 月 6 日
 - 第 1 展示室～第 5 展示室：特別展 ザ・ベスト@トクガワ
- 平成 28 年 11 月 8 日～12 月 14 日
 - 第 1 展示室： 徳川美術館の名刀・武将の装い
 - 第 2 展示室： 徳川美術館の名碗・会席道具の用と美
 - 第 3 展示室： 歳暮の茶事
 - 第 4 展示室： 国宝 初音調度の美
 - 第 5 展示室： 蓬左文庫企画展関連展示
- 平成 29 年 1 月 4 日～4 月 9 日
 - 第 1 展示室： 徳川美術館の名刀・大名家の鷹狩り
 - 第 2 展示室： 徳川美術館の名碗・会席道具の用と美
 - 第 3 展示室： 御殿の祝い
 - 第 4 展示室： 国宝 初音調度の美・唐人相撲装束言能の世界
 - 第 5 展示室： 蓬左文庫企画展・特別展関連展示
 - 展示期間： 1 か月毎に展示替え、来館者数計 11,078 名（企画展示期間を除く）

2. 企画展示（第 7～9 展示室）

- 平成 29 年 2 月 11 日～4 月 10 日
 - 本館リオープン記念特別展「尾張徳川家の雛まつり」
 - 名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・NHK 名古屋放送局共催

3. 蓬左文庫展示（第 1～2 展示室）

- 平成 28 年 4 月 16 日～5 月 29 日
 - 春季特別展「ぶらり浮世絵散歩ー平木名品コレクションー」
 - 名古屋市蓬左文庫・(公財)平木浮世絵財団・中日新聞社・日本経済新聞社共催
 - 来館者数計 38,624 名
- 平成 28 年 6 月 1 日～7 月 10 日
 - 企画展「ジャパン・デザインー日本の美をもとめてー」
 - 名古屋市蓬左文庫・読売新聞社共催
 - 来館者数計 20,839 名
- 平成 28 年 7 月 14 日～9 月 11 日
 - 夏季特別展「信長・秀吉・家康ーそれぞれの天下取りー」
 - 名古屋市蓬左文庫・朝日新聞社共催
 - 来館者数計 46,512 名
- 平成 28 年 9 月 15 日～11 月 6 日
 - 秋季特別展「ザ・ベスト@トクガワ」
 - 名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催
 - 来館者数計 36,282 名
- 平成 28 年 11 月 9 日～12 月 14 日
 - 企画展「やまと絵うるわし」
 - 名古屋市蓬左文庫共催

来館者数計 23,610 名

- 平成 29 年 1 月 4 日～2 月 5 日
企画展「美しきかな」
名古屋市蓬左文庫・中日新聞社共催
来館者数計 12,832 名
- 平成 29 年 2 月 10 日～4 月 9 日
特別展「全点一挙公開 日本最大の婚礼調度ーさちぎみ様のお嫁入りー」
名古屋市蓬左文庫・中日新聞社・NHK 名古屋放送局共催
来館者数計 49,742 名（平成 29 年 4 月分含む）
企画展来館者数総計 228,441 名、平成 28 年度来館者数総計 231,155 名

4. 特別展示（第 2 展示室）

- 平成 28 年 11 月 19 日～27 日
特別公開 国宝 源氏物語絵巻 関屋・絵合・東屋（一）
期間中の来館者数計 9,154 名
- 平成 29 年 2 月 25 日～3 月 5 日
特別公開 千利休 泪の茶杓
期間中の来館者数計 9,916 名

5. 特別観覧

- 平成 28 年 10 月 9 日・10 日・15 日・16 日・22 日・23 日・29 日・30 日・11 月 3 日
徳川茶会
来館者数計 2,643 名

6. 他館主催展覧会への所蔵品出陳

- 平成 28 年 4 月 1 日～5 月 29 日
熊毛植黒糸威具足等、計 20 件
広島県立美術館「天下太平 徳川名宝展」
- 平成 28 年 4 月 9 日～5 月 22 日
鳳凰雲文箔絵足付盆等、計 3 件
岡崎市美術博物館「大鎖国展ー江戸に咲いた異国の花ー」
- 平成 28 年 4 月 9 日～6 月 12 日
山水楼閣人物図箔絵東道盆等、計 3 件
愛知県陶磁美術館「沖縄の工芸」
- 平成 28 年 4 月 12 日～5 月 22 日
重之集（重要文化財）
大阪市美術館「王羲之から空海へー日中の名筆 漢字とかなの競演」
- 平成 28 年 4 月 29 日～6 月 19 日
黒本尊縁起絵巻等、計 4 件
東京都江戸東京博物館「真田丸」
- 平成 28 年 6 月 4 日～7 月 31 日
古芦屋姥口霰釜
MIHO MUSEUM「極 大茶の湯釜展ー茶席の主ー」
- 平成 28 年 7 月 22 日～8 月 28 日
豊国祭礼図屏風（重要文化財）
福井県立美術館「岩佐又兵衛展 この夏、謎の天才絵師、福井に帰る」
- 平成 28 年 7 月 30 日～9 月 25 日
唐物茶壺 銘 松花（重要文化財）等、計 11 件

- 新潟市美術館「天下太平 徳川名宝展」
- 平成 28 年 8 月 10 日～9 月 19 日
長篠合戦図屏風等、計 22 件
岐阜市歴史博物館「豊臣から徳川へー徳川美術館の名品で綴るー」
 - 平成 28 年 9 月 10 日～10 月 16 日
刀 銘 村正
桑名市博物館「村正ー伊勢桑名の刀工ー」
 - 平成 28 年 9 月 16 日～11 月 6 日
徳川家康画像（東照大権現像）等、計 4 件
松江歴史館「祖父は家康と秀吉 松江藩主 松平直政の生涯ー真田丸攻めで初陣を飾った武将ー」
 - 平成 28 年 9 月 17 日～11 月 3 日
源氏物語画帖等、計 4 件
静岡県立美術館「徳川の平和（パクス・トクガワーナ）ー250 年の美と叡智ー」
 - 平成 28 年 10 月 7 日～11 月 27 日
染付唐花唐草文茶碗等、計 2 件
佐賀県立九州陶磁文化館「佐賀県有田焼創業 400 年事業 特別企画展 日本陶磁誕生」
 - 平成 28 年 10 月 8 日～11 月 23 日
五月節供初幟図
名古屋城総合事務所「描かれた名古屋城、写された名古屋城」
 - 平成 28 年 10 月 8 日～11 月 20 日
月百姿 月岡芳年画等、計 5 件
渋谷区立松濤美術館「月一夜を彩る清けき光」
 - 平成 28 年 10 月 18 日～11 月 27 日
三島筒茶碗 銘 藤袴
東京国立博物館「禅ー心をかたちにしー」
 - 平成 28 年 11 月 15 日～12 月 23 日
唐花唐草亀甲文螺鈿軸盆等、計 3 件
九州国立博物館「きらめきで飾るー螺鈿の美をあつめてー」
 - 平成 29 年 1 月 1 日～1 月 29 日
初音蒔絵湯桶・盥（国宝）等、計 3 件
九州国立博物館「文化交流展示「海の道、アジアの路」」
 - 平成 29 年 1 月 6 日～2 月 19 日
源氏物語絵詞（重要文化財）等、計 5 件
大和文華館「白描の美ー図像・歌仙・物語ー」
 - 平成 29 年 1 月 17 日～3 月 12 日
鹿島立神影図等、計 4 件
東京国立博物館「春日大社 千年の至宝」
 - 平成 29 年 3 月 4 日～3 月 31 日
阿弥陀八大菩薩像等、計 2 件
根津美術館「高麗仏画ー香りたつ装飾美ー」

[5] 編集・刊行

1. 特別展図録作成

(1) 春季特別展「ぶらり浮世絵散歩ー平木名品コレクションー」

平木コレクションについて

(公財)平木浮世絵財団常務理事

佐藤 光信 氏

初期役者絵について	(公財)平木浮世絵財団主任学芸員	森山 悦乃 氏
錦絵の誕生について	(公財)平木浮世絵財団学芸員	松村 真佐子 氏
「浮世絵画帖」(徳川美術館蔵)にみる幕末浮世絵美人画	学芸員	薄田 大輔
作品解説	(公財)平木浮世絵財団主任学芸員 (公財)平木浮世絵財団学芸員 学芸員	森山 悦乃 氏 松村 真佐子 氏 薄田 大輔

(2) 夏季特別展「信長・秀吉・家康－それぞれの天下取り－」

編集及び図版解説 部長代理 原 史彦

(3) 秋季特別展「やまと絵うるわし」

鑑賞のしおり マネージャー 下畑 いつこ

(4) 企画展「美しきかな」

作品解説 部長 四辻 秀紀

(5) 特別展「全点一挙公開 日本最大の婚礼調度－さちぎみ様のお嫁入り－」

作品解説 マネージャー 吉川 美穂

2. 『金鯢叢書』第44輯(『研究紀要』第51号) 編集・刊行

(1) 善光寺式阿弥陀三尊絵像に関する試論

－徳川本を起点に－ 学芸員 安藤 香織

(2) 狩野探幽周辺の戯画製作について

－徳川美術館蔵本を中心に－ 学芸員 加藤 祥平

(3) 狩野典信にみる江戸狩野派の探幽学習

－狩野典信筆「西湖図」を中心に－ 学芸員 薄田 大輔

(4) 事例報告 徳川美術館教育普及活動三十年の歩み

マネージャー 加藤 啓子

3. 雛図録コンパクト版増補改訂

[6] 徳川林政史研究所との連携

1. 展覧会への史料借用

- ・ 展覧会名：「信長・秀吉・家康－それぞれの天下取り－」

会期：平成28年7月14日～9月11日

借用史料名：徳川家康書状1点

- ・ 展覧会名：「全点一挙公開 日本最大の婚礼調度－さちぎみ様のお嫁入り－」

会期：平成29年2月10日～4月9日

借用史料名：国秘録ほか4点

2. 研究協力

歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川林政史研究所研究員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

[7] 尾張徳川家伝来裂類の共同調査

今年度の実施は見送り、次年度事業にあらためて計画することとした。

[8] 図書

1. 図書

(1) 購入(計128冊)

『大坂城之図』(史料)

『平安時代記録語集成(上・下)』(吉川弘文館)

『北宋絵画史の成立』（塚本鷹充著／中央公論美術出版）
『日本刀工 刀銘大鑑』（飯田一雄著／淡交社）
『石山寺縁起絵巻集成』（相澤正彦・國賀由美子著／中央公論美術出版）
『中国絵画総合図録』（東京大学出版会）
『史料纂集 古記録編』（八木書店）ほか

(2) 受贈（計 265 冊）

『織田信長の古文書』（山本博文ほか編／柏書房）
『海のシルクロードの染織史』（吉田雅子著／中央公論美術出版）ほか

2. 雑誌

『國華』（國華編集委員会編／國華社）、『佛教芸術』（佛教藝術學會編、毎日新聞社）、『美術史学研究』（韓國美術史學會）、『文物』（文物編集委員会／文物出版社）、『故宮學術季刊』（國立故宮博物院）などの定期購読のほか、計 296 冊を購入した。また、『茶道の研究』（日本茶道学会／三徳庵）、『美術研究』（東京文化財研究所）、『MUSEUM』（東京国立博物館）、『茶の湯文化学』（茶の湯文化学会）他、多数の寄贈を受けた。

[9] 館蔵品コンピュータ入力

1. キャプション作成
2. 展示作品リスト（来館者用）作成
3. 調書入力
4. 写真データ入力
5. 展覧会紹介文（英文）

[10] 広報活動

1. 来館者誘致活動

(1) 団体来館者の利用促進

- ・ 会社への働きかけ（関東、近畿、北陸、東海の大手旅行社・バス会社）
- ・ 教育旅行誘致活動（大阪・京都市内の小学校および教育旅行取扱の旅行会社への営業活動）
- ・ 夜間開館・休館日貸切り開館の実施
- ・ 館内施設の貸出し
- ・ 名古屋観光コンベンションビューローの観光プロモーションへ参加
- ・ 大学メンバーシップのルートを使用して展覧会等の情報提供を実施

(2) 個人来館者の利用促進

- ・ 旅行会社への広報宣伝協力要請
各旅行会社の個人旅行向けパンフレットに情報掲載（JTB、近畿日本ツーリスト、JR 東海）
- ・ 前売券の販売促進
百貨店友の会 4 店舗で販売を実施（利用実績：2,042 枚）
チケットぴあ、ローソンチケット、プレチケにて前売券を販売（利用実績：2,591 枚）
福利厚生クラブ（RELO CLUB）にて入館券の割引提携開始
名古屋市交通局定期券販売所（名古屋・栄・金山駅）にて販売
東京ビッグサイトで開催された刀剣イベントにて前売券を販売
愛知県警察互助会との利用提携開始
- ・ 近隣の地域・施設・組織との連携
近隣商店街との連携（駅から道沿いの店舗でポスターの掲示）
瀬戸市観光協会と雛まつり展の相互 PR 連携
JR・地下鉄のウォーキング時のちらしに割引券を掲載

- 各団体と連携したスタンプラリーを実施

名古屋観光コンベンションビューローの観光スタンプラリー実施（4月・9月）

愛知観光協会と産業観光スタンプラリーを実施（6月）

- 「賛助会」および「友の会」

平成28年11月6日 賛助会会員のための企画展内覧会（賛助会会員特別鑑賞会）を開催
講堂にて作品を露出展示、餘芳軒にて呈茶、宝善亭にて会食を実施

平成29年2月 友の会（平成28年度）会員のための会員更新案内を送付

会員数推移状況（平成28年4月1日から平成29年3月31日まで）

賛助会

種別	前期末	入会	退会	今期末	前年度比
個人	117	6	19	104	▲13
家族	27	0	3	24	▲3
法人	54	1	1	54	0

友の会

種別	前期末	入会	退会	今期末	前年度比
一般	376	141	79	438	62
情報	25	5	12	18	▲7

※ 一般会員のうち、24名が半期入会（4,320円）の会員

- コミックマーケット90・91への企業ブース出展

目的および成果

徳川美術館を広域に周知する目的で参加

徳川美術館のコミックマーケット出展がYahoo!ニュースに掲載される等、大きな広報効果が得られた

販売物および広報媒体等

オリジナルグッズの販売

各種展覧会告知、「信長・秀吉・家康—それぞれの天下取り—」「美しきかな」展覧会ちらし各3,000枚を配布

- マスメディアへの情報提供

文化記者クラブへ毎月1回参加、企画展示・各種イベントの取材依頼

主要メディアに対するFAXによるプレスリリース配信

取材実績のある記者に対し、個別のプレスリリース配信

2. 外国人対応パンフレット

(1) 掲載内容

企画展示用の概要紹介

(2) 作成部数

企画展示ごとに400部作成

3. 雑誌・報道広報資料作成（ポスター・ちらし・ニュースレター）

(1) ポスター・ちらし

企画展示ごとに作成

(2) ニュースレター

- 企画展

ぶらり浮世絵散歩—平木名品コレクション—

ジャパン・デザイン—日本の美をもとめて—

信長・秀吉・家康—それぞれの天下取り—

ザ・ベスト@トクガワ

やまと絵うるわし
美しきかな
尾張徳川家の雛まつり

- ・ 特別公開
ゴールドenウィーク刀剣四振り公開、国宝 源氏物語絵巻、泪の茶杓
- ・ 各種講座
定期研究発表会、記念講演会、土曜講座、夏期講座、能楽講座、古文書入門講座、土曜子ども教室、夏休み子ども特別企画
- ・ 各種イベント
十二単着装公開、オリジナル香り袋・文香づくり

4. ホームページ、Facebook、Twitter の更新

ホームページ、Facebook、Twitter の掲載情報を随時更新した。

多様化する端末機器に合わせて表示できるよう、ホームページをリニューアルし、ビジュアルの強化と経費削減を図った。

5. 賛助会・友の会会員拡大のための誘致

ホームページ、Facebook、Twitter による積極的な情報発信やスタンプラリーの実施により、賛助会・友の会会員の誘致を実施した。

6. 大学メンバーシップの拡大と維持

加盟校等一覧（計 30 校）

愛知学院大学[※]、愛知学院大学短期大学部[※]、愛知学院大学歯科技工士専門学校[※]、愛知県立芸術大学[※]、愛知県立大学[※]、愛知工業大学[※]、愛知産業大学[※]、愛知淑徳大学[※]、桜花学園大学[※]、名古屋短期大学[※]、金城学院大学、椛山女学園大学、中京大学[※]、中部大学[※]、東海学園大学[※]、同朋大学[※]、名古屋工業大学 OB 会、名古屋大学[※]、名古屋工業大学[※]、名古屋学院大学[※]、名古屋外国語大学[※]、名古屋芸術大学[※]、名古屋市立大学、名古屋造形大学[※]、南山大学[※]、名城大学、名古屋文化短期大学[※]、名古屋学芸大学[※]、名古屋学芸短期大学[※]、名古屋ファッションビューティー専門学校[※]

※ 印の大学法人等は教職員も加入

7. 閉館後・休館日等における時間外の利用誘致

(1) 時間外貸出し

平成 28 年 11 月 18 日 中部電力(株)

平成 29 年 3 月 7 日 (株)三菱東京 UFJ 銀行

(2) 休館日貸切り

平成 29 年 3 月 13 日 クラブツーリズム(株)

8. 刊行物作成・配布

(1) ポスター・パンフレット

徳川美術館パンフレット

三館共通パンフレット（和文・英文）

土曜子ども教室ポスター・パンフレット

夏休み子ども歴史教室 ポスター

(2) 招待券・割引券・年賀状

(3) 優待券

(4) 美術館だより「葵」

平成 28 年 4 月 1 日（第 98 号刊行）

エッセイ「浮世絵展によせて」

(公財)平木浮世絵財団常務理事	佐藤 光信 氏
平成 28 年 7 月 1 日 (第 99 号刊行)	
エッセイ「秀吉の顔」	
大阪城天守閣館長	北川 央 氏
平成 28 年 9 月 1 日 (第 100 号刊行)	
エッセイ「『葵』創刊百号に寄せて」	
徳川美術館館長	徳川 義崇
平成 29 年 1 月 1 日 (第 101 号刊行)	
エッセイ「武家、サムライの徳川、ナゴヤ 京都の貴族」	
名古屋市長	川村 たかし 氏

9. 取材実績

テーマ	新聞	テレビ・ラジオ	雑誌等
ぶらり浮世絵散歩	4	2	0
ジャパン・デザイン	6	2	0
信長・秀吉・家康	3	0	0
ザ・ベスト@トクガワ	8	4	0
やまと絵うるわし/国宝 源氏物語絵巻	3	0	0
美しきかな	1	0	0
尾張徳川家の雛まつり	12	4	1
鯨尾藤四郎、刀剣女子	2	5	0
その他 (催事・コミケなど)	17	1	1

10. 有料広告掲載

市バス・地下鉄タイアップ (ぶらり浮世絵散歩、信長・秀吉・家康、やまと絵うるわし、尾張徳川家の雛まつり)、朝日新聞社 (ジャパン・デザイン、信長・秀吉・家康、美しきかな、尾張徳川家の雛まつり)、中日新聞社 (尾張徳川家の雛まつり)、キラッ都ナゴヤ (毎月)、名古屋アートニュース (隔月)、JAF メイト (信長・秀吉・家康、やまと絵うるわし)、主要ターミナル駅大型パネル (尾張徳川家の雛まつり)、CBC ラジオ CM (尾張徳川家の雛まつり)、地下鉄構内ポスター掲示 (常設)、大曽根駅南口看板、大曽根駅北口看板、地下鉄車道駅三館共通看板、電柱看板 (常設)

[11] 管理

1. 建物・設備・庭園の営繕工事・管理を実施

本館・北蔵前耐震工事
 空調チラーユニット 1 号機オーバーホール工事
 宝善亭荷物用リフト修繕工事
 屋上防水工事
 本館間接照明管球取替工事
 地下排水ポンプ取替工事
 南蔵前室漏水対策工事
 本館天井シャンデリア修繕工事
 電気室排風機取替工事
 講堂映写装置ランプ購入・取替工事
 学芸事務室非常用照明装置取替工事
 西側通路配線ダクト照明新設工事
 消防設備不具合箇所修繕工事

館内内線電話増設工事

展示ケース LED スポットライト増設

第1展示室展示ケース扉修繕工事

敷地内と周辺民家に隣接する樹木の管理

中庭芝生養生作業、坪庭苔養生作業

茶室と周辺庭園整備（水道修繕工事、竹結界作成）

2. 建物維持管理の強化

電気設備・給排水衛生設備・空調設備の更新計画

自動火災報知装置の更新計画

大型エレベーター取替の検討

※ 本館・収蔵庫屋根瓦修繕計画は次年度以降に策定予定

[12] 第25回徳川美術館運営懇話会の開催

- ・ 開催日時： 平成28年9月1日／16時30分から17時45分まで
- ・ 開催場所： 徳川美術館貴賓室
- ・ 出席委員： 計7名
(一社)中部経済連合会名誉会長 三田 敏雄 氏 (運営懇話会座長)
愛知県知事 大村 秀章 氏
名古屋市長 河村 たかし 氏
名古屋鉄道(株)相談役 河野 英雄 氏
名古屋商工会議所会頭 岡谷 篤一 氏
トヨタ自動車(株)顧問 立花 貞司 氏
(公財)徳川黎明会代表理事 (徳川美術館館長) 徳川 義崇
- ・ 欠席委員： 計2名
(株)三菱東京UFJ銀行顧問 古角 保 氏
中部電力(株)代表取締役社長 勝野 哲 氏
- ・ 議事進行： 議題1 座長の交代
三田座長は6月に中経連会長を退き、新会長に豊田鐵郎氏 ((株)豊田自動織機) が就任。平成29年以降の運営懇話会座長として、豊田鐵郎氏が推挙され、承認された
議題2 徳川美術館の運営報告
市橋康吉徳川美術館副館長が平成27年度の展覧会事業等を報告
議題3 募金活動を含めた耐震補強工事進捗状況
市橋康吉徳川美術館副館長が募金額、工事状況を報告
議題4 当年度入館者数、翌年度展示計画等その他の報告
市橋康吉徳川美術館副館長が入館者数、本館展示の在り方の見直しを報告

[13] 徳川園調整会議、業務・企画会議への参加

1. 徳川園調整会議

- ・ 開催日時： 平成29年1月27日／10時00分から11時30分まで
- ・ 開催場所： 徳川美術館会議室
- ・ 議事進行： 報告事項 各施設の年度実績について
平成28年度「3館セット券」販売状況等について
徳川美術館観覧料金引上げについて
平成29年度ゴールデンウィーク中及びお盆期間中の「月曜日」開園（館）について
平成29年度「3館パンフレット」について

協議事項平成 29 年度各施設事業計画について
外国人誘致及び多言語による情報発信について

2. 徳川園企画・業務部会

- ・ 開催日時： 平成 29 年 1 月 13 日／15 時 30 分から 16 時 30 分まで
- ・ 開催場所： 名古屋市蓬左文庫応接室
- ・ 議事進行： 各施設事業の実施状況
来年度の事業計画の概要
徳川園調整会議にむけて諸調整

[14] 他の美術館・博物館との連携

1. 私立美術館会議（平成 3 年より）
平成 28 年 10 月 7 日 第 25 回 私立美術館会議（於、泉屋博古館）
2. 大名道具収蔵館研究会（平成 4 年より）
平成 29 年 1 月 20 日～21 日 第 23 回 研究会（於、福岡市博物館）

[15] 国庫補助事業（国宝重要文化財等保存整備費補助金）の使途

事業名称： 国宝 紙本著色 源氏物語絵巻 美術工芸品保存修理事業
 交付機関： 文化庁、愛知県、愛知県教育委員会
 文化財名： 国宝 源氏物語絵巻（紙本著色 源氏物語絵巻）絵十五面、詞二十八面のうち、柏木（二）絵、横笛絵、竹河（二）絵、早蕨絵、東屋（二）絵（平成 27 年度修理分）
 平成 24 年度着手、平成 27 年度に完了した文化財関係国庫補助事業「国宝 源氏物語絵巻」の平成 27 年度分補助金として、平成 28 年 4 月 25 日付で国庫より補助金の交付を受けた。また、平成 27 年度分随伴補助金として、平成 28 年 5 月 27 日付で愛知県から県費補助金の交付を受けた。

[16] 活動支援基金

1. 寄附金受付業務

(1) 寄附公募期間

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

(2) 寄附受付結果

平成 28 年度合計 31,607,771 円

- ・ 振込・振替による寄附 31,510,000 円（法人 29 件（97 口）、個人 108 件（2,181 口））

区分	平成 25 年度		平成 26 年度		平成 27 年度		平成 28 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額	件数	金額
法人	11	1,510,000	6	600,000	27	4,290,000	29	9,700,000
個人	183	15,892,500	65	7,612,000	280	12,115,000	108	21,810,000
合計	194	17,402,500	71	8,212,000	307	16,405,000	137	31,510,000

- ・ ミュージアムショップ設置募金箱への寄附 97,771 円

2. 多額寄附者に対する感謝状贈呈（個人は 30 口以上、法人は 10 口以上）

- (1) 個人会員 8 名
- (2) 法人会員 7 社

3. 寄附金の使途

平成 28 年度の寄附金は全額本館および北蔵前壁の耐震補強工事費用に充当した。

[公益事業 2] 林政史の調査研究事業（徳川林政史研究所）

平成 28 年度、徳川林政史研究所においては、所蔵史料の尾張徳川家文書の整理・研究・公開を進めるとともに、公益財団法人犬山白帝文庫など、他機関所蔵の尾張藩関係史料の調査・研究にも着手した。また、引き続き林政史アーカイブズ調査を実施し、収集史料情報の発信体制の構築に向け準備を進め、当研究所が林政史関係史料のアーカイブズセンターとして機能できるように努めた。今年度は、人材養成のための助成金が増額されたことに伴い、若手研究者を各種調査・研究に積極的に参加させ、育成を推進した。なお、当研究の活動に対し、1,250,000 円の活動支援基金が寄せられ、これを活用して史料の補修を実施し、併せて新たに史料を購入した。

[1] 調査・研究

1. 研究

課題（開始年）	担当	
・ 近世材木商の研究（平成 11 年）	所長	竹内 誠
・ 名古屋城の構造と儀礼に関する研究（平成 27 年）	副所長	深井 雅海
・ 尾張藩幕末維新史の研究（平成 24 年）	研究員	藤田 英昭
・ 近世弘前藩領における地域社会と山林（平成 26 年）	非常勤研究員	萱場 真仁
・ 近代山村史の研究（平成 26 年）	筑波大学教授 特任研究員	加藤 衛弘
・ 上州山中領における御林と その管理について（平成 28 年）	東京大学史料編纂所教授 特任研究員	佐藤 孝之
・ 近世木曾山地方における林業開発と 在郷村営農の変遷に関する史的研究（平成 28 年）	特任研究員	大崎 晃
・ 小田原藩領における炭の生産について（平成 28 年）	非常勤研究生	桐生 海正

2. 研究会

・ 平成 28 年 8 月 10 日（於：徳川林政史研究所） 明治初年小田原藩における生産方の設置と炭の流通統制 ー神縄村佐治兵衛の動向を中心にー		桐生 海正
・ 平成 28 年 11 月 25 日（於：徳川林政史研究所） 嘉永・安政期における徳川慶勝の政治動向 弘前城下の檜物師・曲物師たちと幕末弘前藩林政		藤田 英昭 萱場 真仁

3. 「尾張徳川史」編纂準備

- ・ 「源敬様御代御記録」（旧蓬左 138-4）のデータ化作業を行った。
- ・ 「瑞龍院様御代御家御日記」（旧蓬左 143-5）のデータ化作業を行った。
- ・ 「瑞龍公実録」（旧蓬左 138-16）のデータ化作業を行った。

4. 尾張徳川家関連古写真史料の研究

古写真史料の研究に資するため、引き続きガラス板古写真のデジタルデータ化を進めた。

[2] 若手研究者の育成

1. 非常勤研究員・研究生による研究会の開催

・ 第 1 回

平成 28 年 7 月 29 日（於：(公財)上廣倫理財団 UF ホール）

近世後期における江戸勤番武士の統制とその実態

ー加賀藩江戸勤番武士の外出行動を中心にー

熊本藩の江戸湾警備ー警備諸藩とのつながりを中心にー

将軍の御三卿屋形御成ー田安宗武の事例を中心にー

仲泉 剛

柴田 愛

池ノ谷 匡祐

近世後期における「山崩」と山村生活—新庄藩領南山村を事例に—
徳川義親の礼法論
暮らしを支える飛騨の山林

栗原 健一
長沼 秀明
萱場 真仁

• 第2回

平成28年9月26日（於：徳川林政史研究所）
暮らしを支える飛騨の山林
近世那波村の人々と暮らし
三木家文書に見る那波村の事件簿—「萬覚日記」を中心に—

萱場 真仁
高木 謙一
藤田 英昭

• 第3回

平成28年10月24日（於：徳川林政史研究所）
「よしの冊子」掲載記事の傾向と分析
尾張徳川家初代義直正室高原院(春姫)に関する一考察
秋田藩における御札山の資源管理

橋本 佐保
高田 綾子
芳賀 和樹

• 第4回

平成29年3月3日（於：豊島区立生活産業プラザ）
旧交代寄合知久家の明治維新
—喬木村歴史民俗資料館所蔵「知久家文書」の検討を中心に—
天保期御住居入用—越前松平家浅姫御住居について—
近世後期における農民と文人の交流—「禦蛮策」を事例に—
享保二十年の天下一統支干相当祝儀に関する一考察
尾張国葉栗郡極楽寺村文書について
成瀬氏家臣中野熊助の由緒意識
「中村修旧蔵書」の整理を終えて

藤井 明広
吉成 香澄
櫻庭 茂大
田原 昇
仲泉 剛
滝口 正哉
渋谷 葉子

2. 非常勤研究員・研究生による史料整理

平成28年7月25日～8月5日 夏季集中史料整理
平成29年2月20日～3月2日 春季集中史料整理

3. 非常勤研究員・研究生の徳川美術館・名古屋市蓬左文庫・熱田白鳥の歴史館見学研修

平成28年7月8日～7月9日 参加者3名（平成28年度新規採用非常勤研究生）

[3] 編集・刊行

1. 『金鯢叢書』第44輯（『研究紀要』第51号）編集・刊行

平成26年度より徳川林政史研究所の単独発行を中止し、『金鯢叢書』に一本化した。『金鯢叢書』の林政史研究所執筆部分を徳川林政史研究所『研究紀要』として、単独刊行時からの通し番号を付与し、徳川林政史研究所の『研究紀要』とする。

上州山中領における「献上御林」と御林取締り
近世後期の林業・営農からみた山村の経済危機

佐藤 孝之

—信州木曾王瀧村を中心として—
小田原藩生産方役所による炭の流通統制と地域社会の動向

大崎 晃
桐生 海正

ヒバをめぐる幕末弘前藩の山方と弘前城下の檜物師・曲師たち
秋田藩における御札山の管理・利用

萱場 真仁
芳賀 和樹

嘉永・安政期における徳川慶勝の人脈と政治動向
[研究ノート] 尾張徳川家初代義直正室高原院(春姫)に関する一考察

藤田 英昭
高田 綾子

[史料紹介]「東武官邸記」について

渋谷 葉子

[史料紹介]寛政改革後の「よしの冊子」—未刊行資料「雑記」の紹介—

橋本 佐保

2. 『金鯢叢書』第43輯（『研究紀要』第50号）寄贈・送付業務

印刷部数 570 冊（うち、寄贈・交換 537 冊）

[4] 史料調査・収集

1. 林政史アーカイブズ調査

- ・ 平成 28 年 6 月 24 日～6 月 27 日 岐阜県中津川市域史料調査
- ・ 平成 28 年 7 月 2 日～7 月 3 日 飛騨高山まちの博物館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 10 月 5 日～10 月 7 日 長野県立歴史館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 10 月 28 日～10 月 31 日 岐阜県中津川市域史料調査
- ・ 平成 28 年 11 月 19 日～11 月 22 日 弘前市立弘前図書館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 12 月 20 日 埼玉県立文書館所蔵史料調査
- ・ 平成 29 年 2 月 3 日 国立公文書館つくば分館所蔵史料調査

2. 研究資料の調査収集

- ・ 平成 28 年 5 月 11 日 国立公文書館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 6 月 24 日 国文学研究資料館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 9 月 15 日 国立公文書館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 9 月 30 日～10 月 2 日 犬山城白帝文庫所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 12 月 3 日 名古屋市鶴舞図書館所蔵史料調査
- ・ 平成 28 年 12 月 4 日 名古屋市蓬左文庫所蔵史料調査

3. 研究用資料の撮影・収集

上記 1.2.における調査において、以下のとおり、写真撮影を実施した。

- ・ 飛騨高山まちの博物館所蔵史料（デジタルデータ 784 コマ）
- ・ 長野県立歴史館所蔵史料（デジタルデータ 2,820 コマ）
- ・ 弘前市立弘前図書館所蔵史料（デジタルデータ 6,532 コマ）
- ・ 埼玉県立文書館所蔵史料（デジタルデータ 1,118 コマ）
- ・ 国立公文書館つくば分館所蔵史料（デジタルデータ 2,011 コマ）
- ・ 国立公文書館所蔵史料（デジタルデータ 3,725 コマ）
- ・ 国文学研究資料館所蔵史料（デジタルデータ 2,480 コマ）
- ・ 犬山城白帝文庫所蔵史料（デジタルデータ 4,140 コマ）
- ・ 名古屋市鶴舞図書館所蔵史料（デジタルデータ 5,271 コマ）
- ・ 名古屋市蓬左文庫所蔵史料（紙焼き 1,493 枚複写、マイクロ撮影 677 コマ）

4. 研究用史料の収集・購入

以下の史料を購入した。

- ・ 尾張徳川家文書（財産明細調ほか） 15 点
- ・ 徳川達孝回章付雑文書 19 点
- ・ 岡本穆堂来簡集 5 点
- ・ 公方様亥六月於朝鮮馬場相撲御見物上覧一式の事 1 点
- ・ 大坂新町茨木屋惣右衛門抱え遊女直江上書写 1 点
- ・ 抄録雑留帳 1 点
- ・ 岐阜に関する日記（享保 9 年岐阜釜石町商人柴田与市日記） 1 点
- ・ 柚取物一件 1 点
- ・ 山方格帳乾 1 点
- ・ 天保九年三月江戸城西丸炎上につき勘定方金高内々調書 1 点

[5] 所蔵史料の整理

1. 史料整理・点検

- ・ 尾張徳川家文書の合綴史料を整理し、目録カードを作成した。
平成 28 年度は、479 点整理、総数 6,007 点のうち、計 6,007 点完了
- ・ 犬山・中野熊助文書を整理し、目録カードを作成した。
平成 28 年度作業開始。平成 28 年は見積総数[※]約 350 点のうち計 197 点完了
- ・ 旧名古屋税務監督局所蔵史料番号確定作業を行い、目録を作成した。
総史料点数 3,312 点のうち、1,866 点完了
- ・ 王滝村松原家文書の目録カードを作成し、754 点整理、見積総数[※]約 4,000 点のうち、計 2,242 点完了
- ・ 三河国岡崎久右衛門小路町文書の目録を作成した（総計 68 点）。
- ・ 三河国岡崎円頓寺文書の目録を作成した（総計 32 点）。
- ・ 三河国岡崎関係文書の目録を作成した（総計 117 点）。
- ・ 三河国渥美郡島村文書の目録を作成した（総計 93 点）。
- ・ 三河国渥美郡吉田宿文書の目録を作成した（総計 7 点）。
- ・ 三河国渥美郡関係文書の目録を作成した（総計 10 点）。
- ・ 三河国加茂郡石畳村文書の目録を作成した（総計 22 点）。
- ・ 三河国加茂郡打越村文書の目録を作成した（総計 6 点）。
- ・ 三河国加茂郡梅ヶ坪村文書の目録を作成した（総計 13 点）。
- ・ 三河国加茂郡関係文書の目録を作成した（総計 23 点）。

※ 見積総数

各史料群の点数は、整理開始時の概算によるものであり、今後の史料整理により、新たに史料が確認されて、点数が増加する見込みであるため、整理中のものについては、現時点で「見積総数」と表記している。

2. 史料のデジタルデータ化

- ・ ガラス板古写真のデジタルデータ化（52 点）
- ・ 史料のデジタルデータ化

※ 外部委託

デジタル撮影「尾張国犬山城図」ほか、14 点 125 カット
フィルムのデジタル化「御日記」「(家扶)日記」ほか、4,471 コマ

※ 所内作業

デジタルマイクローリーダープリンター導入によるデジタルデータ化
「尾張随筆」ほか、8,852 コマ

3. 史料補修

以下の史料の補修を行った。

- ・ 続林絵図 1866(1) 名古屋城二之丸絵図（名古屋城二之丸御殿表・中奥向絵図）
- ・ 続林絵図 1866(2) 名古屋城二之丸絵図（名古屋城二之丸向御屋敷絵図）
- ・ 八雲史料 534 大略八雲開拓漫画漫文
- ・ 続林絵図 1926 城郭絵図
- ・ 続林絵図 1927(1) 御殿・長屋・庭園に付地震被害絵図（表・奥御殿・長屋に付地震被害絵図）
- ・ 続林絵図 1927(2) 御殿・長屋・庭園に付地震被害絵図（御隠殿・長屋に付地震被害絵図）
- ・ 続林絵図 1927(3) 御殿・長屋・庭園に付地震被害絵図（明キ御殿・庭園に付地震被害絵図）

[6] 所蔵史料の目録刊行

1. 尾張徳川家文書目録（十三）を『金鯨叢書』第 44 輯（『研究紀要』第 51 号）に収録刊行した。
2. 石河家文書目録（十一）を『金鯨叢書』第 44 輯（『研究紀要』第 51 号）に収録刊行した。
3. 中村修旧蔵書を『金鯨叢書』第 44 輯（『研究紀要』第 51 号）に収録刊行した。

[7] 教育・普及

1. 講座・講演

(1) 徳川林政史研究所公開講座・豊島区教育委員会共催

平成 28 年 9 月 1 日	天保改革と遠山金四郎	竹内 誠
平成 28 年 9 月 8 日	江戸城西丸再建と川路聖謨	深井 雅海
平成 28 年 9 月 15 日	天保飢饉と弘前藩 ー「御救山」をめぐる藩と村の対応ー	萱場 真仁
平成 28 年 9 月 29 日	豊島区にあった幻の寺院・感応寺 ーお美代の方ゆかりの地ー	高木 謙一
平成 28 年 10 月 6 日	尾張家十二代徳川家荘の旅日記	藤田 英昭

(2) 徳川林政史研究所公開講座・高山市教育委員会「再発見・飛騨の林政ー山の恵みと高山の町」

平成 28 年 11 月 5 日	於：飛騨高山まちの博物館研修室	
町家と農家の建築規制		田中 彰
飛騨国の植林政策とその影響		高橋 伸拓
暮らしを支える飛騨の山林		萱場 真仁
質疑・応答（司会）		太田 尚宏

(3) 徳川美術館主催「徳川林政史研究所古文書入門講座」に講師として参加した。

平成 28 年 6 月 4 日	享保改革と吉宗・宗春	竹内 誠
平成 28 年 6 月 18 日	享保改革期の法令伝達	深井 雅海
平成 28 年 6 月 25 日	異形の殿様 徳川宗春の登場	白根 孝胤
平成 28 年 7 月 2 日	尾張藩の享保林政改革	萱場 真仁
平成 28 年 7 月 9 日	徳川宗春の人となりと政治	藤田 英昭
平成 28 年 7 月 16 日	徳川宗春の隠居・謹慎	藤田 英昭

(4) その他の講演

・ 竹内 誠

平成 28 年 5 月 27 日	江戸東京博物館友の会総会記念講演 演題「浅草寺日記の世界」
平成 28 年 6 月 10 日	民族衣装文化普及協会東北地区研修会 演題「「おもてなし」と「もったいない」の江戸ごろろ」
平成 28 年 7 月 6 日	内外情勢調査会大阪支部講演会 演題「江戸と大坂の文化・商法の比較」
平成 28 年 9 月 8 日	名古屋商工会議所主催講演会 演題「知られざる決断・尾張藩主徳川慶勝」
平成 28 年 10 月 1 日	長野県須坂市文化講演会 演題「真田信繁の虚像と実像」
平成 28 年 10 月 4 日	内外情勢調査会会津支部講演会 演題「江戸の暮らしに学ぶ」
平成 28 年 10 月 13 日	すみだ北斎美術館開館事前研修会 演題「美術館経営の実際」
平成 28 年 10 月 14 日	千葉大学医学部特別講座講演 演題「江戸のリーダーシップ像」
平成 28 年 10 月 22 日	川越市立博物館企画展関連講演会 演題「江戸の町人世界」
平成 28 年 11 月 16 日	茨城県労働者福祉協議会講演 演題「持続可能な江戸の循環型社会」

- 平成 28 年 12 月 3 日 すみだ北斎美術館開館記念講演
演題「葛飾北斎とすみだ」
- 平成 28 年 12 月 16 日 東京都公文書館企画展関連記念講演
演題「両国橋と江戸文化」
- 平成 29 年 1 月 21 日 上廣倫理財団主催歴史・文化フォーラム（いわき市）
演題「江戸時代の文化を語る」
- 平成 29 年 2 月 23 日 平成 28 年度信越地区博物館等職員研修会
演題「博物館の現在と未来」
- ・ 深井 雅海

平成 28 年 5 月 14 日 文京区アカデミア講座「江戸城の構造と機能」（第 1 回／全 5 回）
演題「江戸城の構成と本丸御殿への登城」

平成 28 年 5 月 21 日 文京区アカデミア講座「江戸城の構造と機能」（第 2 回／全 5 回）
演題「幕府の年中行事と年始御礼の仕組み」

平成 28 年 5 月 28 日 文京区アカデミア講座「江戸城の構造と機能」（第 3 回／全 5 回）
演題「「表」の構造にみる政治の仕組み」

平成 28 年 6 月 4 日 文京区アカデミア講座「江戸城の構造と機能」（第 4 回／全 5 回）
演題「「奥」の構造にみる将軍の生活」

平成 28 年 6 月 25 日 文京区アカデミア講座「江戸城の構造と機能」（第 5 回／全 5 回）
演題「「大奥」の構造にみる女性たちの生活」

平成 29 年 1 月 28 日 神奈川県土曜古文書会
演題「享保改革期の法令伝達」
 - ・ 藤田 英昭

平成 28 年 5 月 27 日 東京大学史料編纂所附属画像史料解析センターPJ 研究会
演題「幕末江戸城に関する諸問題－仮御殿の時代－」

平成 28 年 10 月 15 日 近現代史研究会（名古屋大学）
演題「幕末尾張藩政の展開と徳川慶勝」

平成 28 年 11 月 6 日 「忠臣蔵から村文書まで～西播磨のアーカイブ～」シンポジウム
演題「三木家文書に見る那波村の事件簿－赤穂事件を中心に－」

平成 28 年 12 月 19 日 鎌倉生涯学習センター・きらら鎌倉講座
演題「徳川家康の側室お梶の方と尼寺・英勝寺」
 - ・ 萱場 真仁

平成 28 年 5 月 21 日 国史学会
演題「嘉永・安政期における弘前藩の漆木増殖と森林復興策
－津軽半島西岸部を中心に－」

平成 29 年 3 月 9 日 歴史学研究会日本近世史部会
演題「近世後期弘前藩領の山林と藩・領民の対応
－天保飢饉時の「御救山」設定を中心に－」

2. 書籍の編集・刊行

尾張徳川家に関する調査・研究の成果として、尾張家初代徳川義直の事績をまとめた「源敬様御代御記録」全 36 冊のうち、寛永 8 年から同 16 年までの 9 冊分を『史料纂集 古記録編 源敬様御代御記録』第二巻（八木書店、平成 28 年 7 月 28 日発行）として刊行した。

3. ホームページの作成・公開

徳川林政史研究所ホームページを更新し、『研究紀要』掲載論文や史料目録の閲覧機能を強化して、利用者の便宜を図った。

4. 所外出講

明海大学 日本歴史 前期・後期
学習院女子大学 学習院史 I 前期

藤田 英昭
藤田 英昭

5. 案内パンフレットの作成

[8] 所蔵史料データベースの構築および保存

1. 尾張徳川家文書
2. 石河家文書
3. 中村修旧蔵書
4. 尾張国春日井郡文書
5. 尾張国葉栗郡極楽寺村脇田家文書
6. 尾張国葉栗郡極楽寺村文書
7. 尾張国葉栗郡文書
8. 尾張国海東郡文書

[9] 徳川美術館との連携

1. 展覧会への史料出陳
 - ・ 展覧会名：「信長・秀吉・家康ーそれぞれの天下取りー」
会期：平成 28 年 7 月 14 日～9 月 11 日
出陳史料名：徳川家康書状 1 点
 - ・ 展覧会名：「全点一挙公開 日本最大の婚礼調度ーさちぎみ様のお嫁入りー」
会期：平成 29 年 2 月 10 日～4 月 9 日
出陳史料名：国秘録ほか 4 点
2. 研究協力
歴代当主の事績や年譜に関する情報を共有するなど、徳川美術館学芸員と密接に連絡を取り合い、相互の研究を深化させるべく努めた。

[10] 所蔵図書 of 整理

1. 図書整理
昨年度に引き続き、図書・雑誌のコンピュータ入力を進め、新着図書 417 冊に対し、ラベル貼付並びに入力作業を行った。
2. 図書の搬入・受贈
 - ・ 図書は、『勘定奉行 川路聖謨関係史料第一巻』等 166 冊を購入。その他、寄贈された図書 251 冊。
 - ・ 雑誌は、『歴史学研究』等 160 冊を購入。その他寄贈された雑誌 430 冊。

[11] 閲覧・出陳・レファレンス業務

1. 史料閲覧
本研究所は、約 7 万 8 千点の歴史資料（旧蓬左文庫所蔵史料・尾張徳川家文書・旧名古屋税務監督局所蔵史料・旧愛知県庁所蔵史料・写真資料など）を所蔵し、閲覧日を設けて定期的に所外研究者に対する閲覧の便宜を図っている。本年度の閲覧許可数は 40 件、延べ閲覧者数は 249 人にのぼった。
2. 所蔵史料の出陳
 - ・ 出陳機関：江戸東京博物館
展覧会名：大河ドラマ特別展「真田丸」
会期：平成 28 年 4 月 29 日～6 月 19 日
出陳史料：「大坂城攻配之図」ほか 2 点
 - ・ 出陳機関：城とまちミュージアム（犬山市文化史料館・犬山城白帝文庫歴史文化館）

展覧会名：「犬山・名古屋・江戸一城主の見た江戸」

会期：平成28年9月6日～10月28日

出陳史料：「(犬山城及び城下絵図)」ほか3点

- ・ 出陳機関：川越市立博物館

展覧会名：「城下町川越の町人世界」

会期：平成28年10月8日～11月23日

出陳史料：「国々はんくわのちみちのりあんない」ほか3点

- ・ 出陳機関：名古屋城天守閣

展覧会名：「描かれた名古屋城、写された名古屋城」

会期：平成28年10月8日～11月23日

出陳史料：「享保尾事」ほか4点

3. レファレンスへの対応

閲覧来所者及び電話でのレファレンスに対応した。

[12] 史料写真の貸出しおよび複写サービス

1. 所蔵史料写真の貸出しおよび複写

受付総数計126件（林政史研究所直接受付126件、愛知県公文書館受付の紙焼き史料複写申請0件）

2. 蓬左文庫受けの二次複写申請

受付総数計8件（DVDからの複写8件、紙焼き史料の複写0件）

[13] 補助金関係

1. 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）（特定奨励費）

申請者：(公財)徳川黎明会徳川林政史研究所

事業名称：近世・近代の林政と地域社会に関する調査・研究・普及事業

交付機関：(独)日本学術振興会※

交付金額：8,500,000円

※ 平成26年度より、特定奨励費の交付業務は、文部科学省から(独)日本学術振興会へ移管されている。

2. 特定奨励費以外の科学研究費助成事業

- ・ 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）

研究種目：基盤研究(B)

研究課題：高雄曼荼羅にみる古代アジア密教美術の様相

交付機関：東京国立博物館（(独)日本学術振興会）

交付金額：400,000円

研究者名：徳川美術館 学芸部学芸員 安藤 香織（研究分担者）

- ・ 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）

研究種目：若手研究(B)

研究課題：松平定信の情報収集活動－「よしの冊子」を中心に－

交付機関：(独)日本学術振興会

交付金額：600,000円

研究者名：徳川林政史研究所 非常勤研究生 橋本 佐保（研究代表者）

3. その他の競争的資金および民間助成金等

助成金名：公益財団法人上廣倫理財団教育・研究・活動助成金

申請者名：徳川林政史研究所 所長 竹内 誠

事業名称：歴史学研究的発展に貢献できる若手研究者の育成

助成機関：(公財)上廣倫理財団

交付金額：5,000,000 円

[14] 他機関との連携・協力

1. 名古屋市蓬左文庫

- ・ 徳川林政史研究所所蔵史料の一部を紙焼き及びデジタルデータで提供し、名古屋市蓬左文庫での閲覧公開に協力した。
- ・ 平成 28 年 6 月 7 日名古屋市蓬左文庫学芸員 1 名の研修を受け入れ、施設見学・史料の概要説明を行った。

2. (公財)徳川記念財団

徳川林政史研究所では、受託史料として、徳川宗家（旧将軍家）に伝来した史料、約 5,130 点を保管しており、これら伝来品の活用を図る目的で設立された(公財)徳川記念財団が、調査・展示などで保管史料を利用する際には、史料出納をはじめ、調査への助言、閲覧室・写真撮影場所の提供、貸し出しの立ち会い等の協力を行っている。平成 28 年度は、(公財)徳川記念財団が実施した展示事業と閲覧 9 件について協力した。

平成 28 年 5 月 20 日	「御実紀調沿革」ほか、13 件 14 点	閲覧対応
平成 28 年 7 月 6 日	「関原御陣前書物」ほか、2 件	展示事業
平成 28 年 10 月 21 日	「和宮様御下向御供帰府其外の節御意の振」ほか、2 件	展示事業
平成 28 年 12 月 9 日	「大姫婚礼行列記」1 件	展示事業
平成 28 年 12 月 16 日	「三河物語」ほか、6 件	展示事業
平成 28 年 12 月 29 日	「訴状箱鍵」*ほか、計 10 件	展示事業
平成 29 年 1 月 27 日	「孝明天皇宸翰」*ほか、計 7 件	展示事業
平成 29 年 2 月 17 日	「改元の節御意の振」ほか、計 4 件	複写対応
平成 29 年 3 月 22 日	「天保度日光御参詣書付留」ほか、計 2 件	複写対応

※ 現在継続中

3. 教育・研究機関の研修受入れ等

平成 28 年 7 月 14 日	学習院大学学芸員取得課程受講者 「博物館実習」の課外授業として、担当教員 1 名の付き添いのもと、学生 10 名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。
平成 29 年 1 月 17 日	聖心女子大学学生 「資料整理実習」の課外授業として、担当教員 1 名の付き添いのもと、学生 5 名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。
平成 29 年 3 月 17 日	中京大学学生 卒業研究ゼミナールの学外調査研究活動の一環として、教員 1 名付き添いのもと、学生 10 名の施設見学・史料閲覧を受け入れた。

4. その他

下記閲覧・撮影等に対応した。

平成 28 年 8 月 24 日	東京大学史料編纂所附属画像史料解析センターPJ による絵図閲覧
平成 28 年 8 月 30 日	ドキュメンタリージャパン制作徳川慶勝番組につき史料閲覧・VTR 撮影
平成 28 年 9 月 7 日	ドキュメンタリージャパン制作徳川慶勝番組につき史料閲覧・VTR 撮影
平成 28 年 10 月 3 日	NHK 名古屋放送局製作番組につき所蔵史料「鸚鵡籠中記」VTR 撮影

[15] 事業評価委員会の開催

平成 29 年 3 月 16 日、外部委員による事業評価委員会が開催され、徳川林政研究所が実施した平成 28 年度事業について、評価・講評を受けた。

[16] 資産の取得

1. 什器備品
徳川林政史研究所サーバー用外付ハードディスク（無停電バッテリー含む） 1台

2. 図書
購入 166冊
受贈 172冊

[17] 設備管理
建物・設備等にかかる営繕工事等はなかった。

[18] 活動支援基金

1. 寄附金受付業務
前年度に引き続き、徳川林政史研究所の実施事業を対象にした募金活動を行った。平成28年度の実績は、以下のとおりである。

(1) 寄附公募期間

平成28年4月1日～平成29年3月31日

(2) 寄附受付結果

1,250,000円（法人0件（0口）、個人25件（125口））

2. 寄附金の使途

史料購入（前記 [4] 4.）

「尾張徳川家文書（財産明細調など）」15点ほか、計6件42点 336,000円

史料補修（前記 [5] 3.）

「名古屋城 二之丸絵図」ほか、7点 547,332円

Ⅲ.収益事業

[収益事業 1] 不動産賃貸事業（本部・総務部）

[1] 外国人向け住宅

全 6 棟中 5 棟の賃貸を実施した。

[2] 賃貸住宅工事等による固定資産の取得

平成 28 年度賃貸住宅工事等による固定資産の取得は、以下のとおり。

1. 建物附属設備

HOUSE No.A	排水管改修工事 1 式	489,240 円
------------	-------------	-----------

2. 什器備品

HOUSE No.A	ユーティリティルーム用エアコン 1 台	123,000 円
------------	---------------------	-----------

[収益事業 2] ミュージアムショップ、宝善亭等の運営事業（徳川美術館）

[1] ミュージアムショップの運営

- 商品陳列・装飾改善

各展覧会に則した商品陳列等、ショップ内の装飾の改善等を適宜実施した。

- 商品開発

刀剣特別公開に併せ、関連グッズを強化した。

尾張徳川家の雛まつり展のオリジナル商品を強化した。

- オンラインショップにおける販売促進

オンラインショップにおける刀剣グッズの取り扱いを開始し、販売を促進した。

- 販売促進

美術品貸出し施設において、作品に関連するグッズの販売を促進した。

- 備品等の購入

レジスターを購入した。

コンシェルジュのための夏季用制服を購入した。

[2] 宝善亭・コーヒーラウンジの利用促進

- 美術館パンフレット・ちらしに利用促進のための案内を掲載した。

- (株)八百彦本店との連携を強化した。

事業報告の附属明細書

平成 28 年事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないため、作成していない。